

## 2013年7月30日「は～ん？反射ってなんだろう～水の万華鏡をつくろう～」

小学生を対象に、夏休み科学あそび「は～ん？反射ってなんだろう～水の万華鏡をつくろう～」を開催しました。

科学読物研究会会員の坂口美佳子先生の指導により、凹面鏡や青銅鏡を使って反射について実験しながら学びました。



平らな面の鏡と、曲がる面の鏡では、うつり方は違うでしょうか。  
曲がる面の鏡をおもいきり曲げると、自分の顔はどう映るかな？



自分の顔が太っちゃった！？  
鏡を横、縦にたわませると映った顔も伸びたり平べったくなったりします。



鏡は光の正反射の性質を利用して物の姿を映します。  
やすりでゴシゴシ傷つけると、物が映りにくくなります。



魔鏡はどんなふうに見えるかな。

そのほか、凹面鏡、凸面鏡、青銅鏡の映り方を実際に手にとって確かめたり、ピンポン玉を跳ねさせて、正反射と乱反射についてイメージする実験も行いました。



さて、お待ちかねの水の万華鏡づくりです。  
プラスチックの鏡を配り、各々はさみ・セロハンテープを使い、筒状の三角柱を作って  
ラップの芯の中にセットします。



次は、試験管に自分の好きな色のビーズを入れ、水・のりを入れます。



試験管とラップの芯を針金で固定し、芯に折り紙を巻いて完成です！  
「とってもきれい！」と大好評でした。

最後に先生おすすめの科学の本を紹介していただきました。府中の図書館で借りられる本もたくさんあるので、興味のある方はぜひお越しください。